

「桜」

日差しも段々と暖かくなってきましたね。三月になると天気予報で「桜前線」という言葉を耳にします。桜前線とは、日本各地の桜（主にソメイヨシノ）の標本木が五〜六輪以上の花が開いた状態を開花日とし、その開花予想日を結んだ線のことです。昭和四二年頃から使われているそうです。

現在では桜前線はお花見の目安とされていますが、明治末期頃には日本各地で冷害などによる農産物への被害が多発したため、その解決策として昭和初期までは農業用の気象研究として使われていたそうです。

お花見の起源を遡ると、奈良時代の貴族の行事として始まったようです。奈良時代には中国から伝来したばかりの梅が鑑賞されていましたが、平安時代に桜に代わりました。鎌倉時代に入ると、貴族の楽しみであった桜の下の宴はあらゆる階層に広まり、武士や町人の間でも行われるようになり、京都の寺社や山々に桜が植えられたそうです。江戸時代にはお花見は庶民の娯楽として定着し始めました。

毎年、私たちの目を楽しませてくれる桜。色々調べているうちに、古来の人々はお花見をどの様に楽しんでいたのでろうと思いを馳せました。今年は目だけではなく、歴史を感じながら楽しんでみたいと思います。

理学療法士 小川 真吾

## 特集 平成27年度 介護保険・こう変わった!? 第4回「入退所前後訪問指導」とは

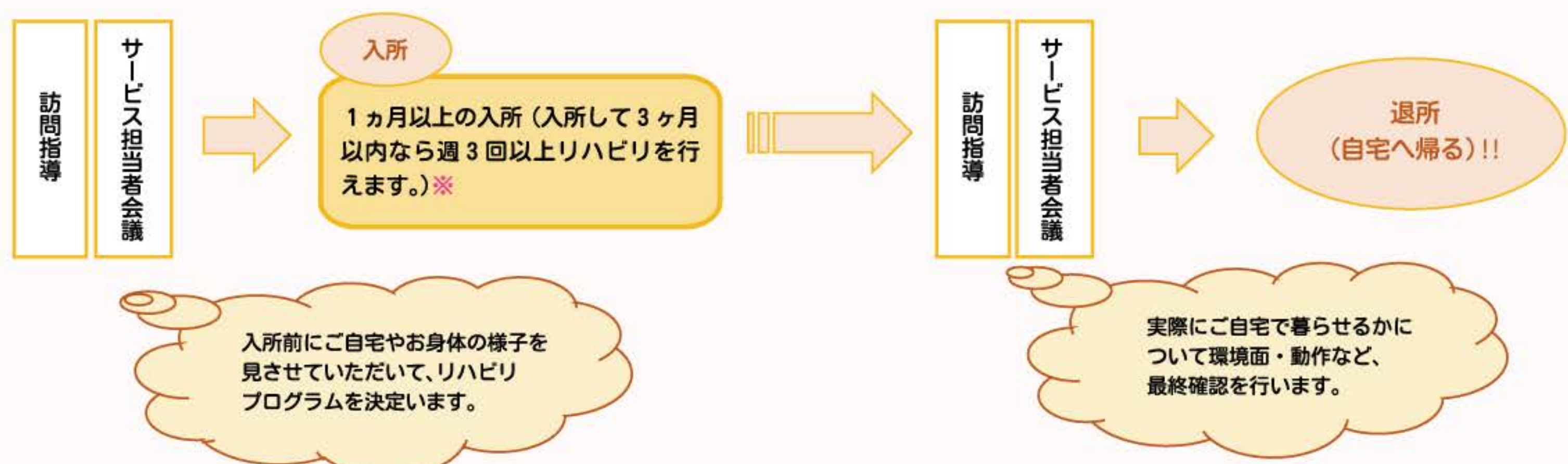
入退所前後訪問指導とは、ご利用者様のご自宅にリハビリ職員やケアマネジャーなどが伺って、実際の環境や動作を見させて頂くことです。国立あおやぎ苑に入所されるご利用者様に行うもので、入所と退所の時にそれぞれ下記の目的の為にいきます。

- ・効率的なリハビリができる
- ・必要な福祉用具の提案・選定ができる
- ・ご利用者様やご家族様の不安を解消できる

入所されると定期的にサービス担当者会議を行います。

サービス担当者会議とは…ご利用者様のお身体の状態やリハビリの内容・目標について話し合いをします。参加者にご利用者様、ご家族様の他に、担当のリハビリ職員、ケアマネジャー、支援相談員など様々な職種が参加します。

※会議では、実際に困っていることやリハビリで行ってほしいことをお聞きます。リハビリ以外のことでもお気軽に相談ください。



※ただし一定条件がありますので詳しくはリハビリ職員もしくはケアマネジャーにおたずねください。

最後に……まずは何が困っているか、自宅を訪問する際に特にどこを見て欲しいかなどお聞きして、十分に情報収集をしたうえで自宅訪問をさせていただきます。また、自宅訪問とサービス担当者会議の日程はその都度調整しますので、入退所日の後へと変更されることもあります。

ご利用者様やご家族様にとっても、施設の職員にとっても安心してリハビリに励める環境をつくることができますので、ぜひご活用下さい。

文責：理学療法士 徳上みゆき

# チーム紹介⑬

## 八王子デイケアセンター

浅川添いにある八王子デイケアセンターはJR八王子駅より徒歩13分、京王八王子駅より8分の立地に恵まれ、四季折々の景色を楽しみながら、日々入浴、リハビリに取り組みられる利用者様と元気で個性的なスタッフと共に、笑い声の絶えないサービスを提供しています。  
是非一度遊びにきてください。



上段左から 白井 木村 佐野 笠原  
下段左から 細谷 夏目 東島所長 石渡

### あおやぎ徒然草 11

隠し味

花房丞次

昭和十九年、警戒警報発令中の四年生の一学期始業式で、教育勅語奉読、国歌斉唱のあと校長先生が、厳かに訓示を垂れた。

訓示、「中国戦線において、青森鎮台と鹿児島鎮台の兵隊同志の会話が通じないので、中国人の捕虜が通訳した。友軍同志の会話が通じないようでは、作戦の遂行もおぼつかない、戦果も挙がらない。要は、子供の頃の方言の野放しにあり、教科書で習う標準語が生活の中に活かされていない。明日から校内での方言の使用は一切禁止する」と。

かくして、標準語の上達度は、軍隊の階級章を左胸元に付けて表彰することになった。方言を使わない努力が一ヶ月を経る毎に一階級昇進する。私は、中尉まで昇進したが、喧嘩をして方言で怒鳴りまくったのを密告され上等兵に降格された。

六十数年を経て、標準語で優劣を競ったクラスメートが、格安航空券で上京してきた。手土産は郷土の名産「鹿児島弁丸だし」である。「丸だし」に秘められた隠し味（独特のアクセント）を着に、夜通し酌み交わす芋焼酎は格別に旨く、酔うほどに、ともがらや元乙女たちの消息が飛び交い、郷愁を誘った。

編集後記

今回で花房様の6回にわたる文筆が終了となりました。毎回、戦中戦後の厳しい時代について、花房様らしい柔らかいユーモアを交えてお話して頂きました。ありがとうございました。さて、徒然草の今後は... 残念ながら、まだ、継続できるかわかりません。こんな話は皆に聞いて欲しいというような題材があれば、ぜひ書いて頂ければと思いますので、お知らせください。よろしく申し上げます。

### 作品紹介



〈アイロンビーズの花瓶敷き〉

既存棟 3階 駒見公子様

アイロンをかけると溶けて固まるビーズを使って作りました。ピンセットを使う細かい作業ですが、可愛い飾りや実用的な小物も作ることが可能です。

〈マット（メタリックヤーン）〉

既存棟 4階 伊藤キミ様

片手で作ったので時間がかかりましたが、出来上がりに満足です。



〈たぬきの置き物（メタリックヤーン）〉

既存棟 デイケア 幸田里香様

約4年の歳月をかけて完成させた力作です。手芸が大好きなので、楽しく作ることができました。

### 縄文 2階豆まき

2月3日に各フロアで豆まきを行いました。今年は、特にこわ〜い鬼が来たので、皆さんで協力しながら、無病息災で過せるよう鬼退治をしました。



### 新入職員紹介

峰岡 愛 (リハビリ助手)

国立市に在住しています。3月11日付けで入職しました。一人でも多くの利用者様の名前を早く覚えられるようにしたいです。よろしく申し上げます



### 私のふるさと自慢

私の故郷、大阪府堺市は、中学・高校の社会科の教科書の中に必ず登場する、日本史を語る上で欠かせない街です。

例えば、古墳時代に堺市の中心に築造された大仙陵古墳は、墳墓の大きさでは世界最大と言われています。また、堺市は室町時代には南蛮貿易で栄え、安土桃山時代には鉄砲が堺市に伝来して、全国に広まりました。鉄砲の技術は刃物作りに活かされ、堺市の職人が作った「堺包丁」は、現在では日本はもちろん、世界の料理人が買い求める程上質といわれています。そして、日本を代表する歌人と謝野晶子や、茶人千利休が生まれた市でもあります。

そんな堺市を訪れることがあれば、試して頂きたいのが和菓子で

す。千利休によってお茶の文化が根付き、南蛮貿易によってそれまで日本にはなかった食材が身近にあった堺市には、絶品の和菓子が数多くあります。

私のおすすめは、ねっとりした独特の風味のあんであまみちの「くるみもち」、上品な甘さのアンコと表面にまぶされたケシの実のプチプチした触感がうれしい「けしもち」、優しいシナモンの香りで何個でも食べられる「にっきもち」。どれも数100年の歴史がある堺が誇る名菓です。値段は少し高め(?)ですが、ぜひ機会があれば一度お試しください。



くるみもち



けしもち



にっきもち

作業療法士 長尾 宗典